



Ogaru Times

有限会社アーティスター

第8号

2024年12月発行

OGARU TIMES

vol. 8

2024.12.10発行

INTERVIEW

ぎんのはさみ アルマ店
教育班

お お さ わ ど し ゆ き
大澤 敏幸

ぎんのはさみアルマ店の大澤敏幸さんは前職で美容業界に興味を持ち、一念発起して美容師の資格を取得しました。経験を重ね、現在は美容師として自身も接客にあたりながら、後進の技術指導にも携わっています。「スタッフが楽しく働ける環境づくりを心がけています」という大澤さんに、これまでの歩みや指導に対する思いをうかがいました。

入社の経緯を教えてください。

前職は広告関係の会社でカメラマンのアシスタントをしていました。モデルの髪を美しくセットするスタイリストの仕事の間近で見ているうちに、「美容の仕事をやってみたい」と思うようになり、働きながら通信で勉強を始めました。国家試

験を受けるまで要した時間は約3年。2004年に、ようやくスタイリストになりました。

有限会社アーティスターに入社したのは2013年6月。自宅から近い場所にあり、福利厚生など会社のシステムが整っていたため、安心して働けそうだと思い、決断しました。

入社から10年以上が経ちましたが、ご自身の中で成長したと感じるのはどの部分ですか。

入社して間もないころ、当時指導してくれた先輩から、「すごく不器用だね」と言われました。「ここがダメ」「あれがダメ」と的確に指摘する方で、褒められることはあまりなく、悔しい思いもありましたが、その気持ちをバネに努力を重ねてき

ました。

実際のところ、自分でも不器用さを自覚していて、「不器用なりに、丁寧に行うことが大切だ」と思っていました。当時、先輩から言われて印象的だったのは、「お客様のカットをしているときが一番の練習だよ」という言葉。1回1回のカットが自分のスキルアップに繋がると信じて、丁寧なカットを心がけながら、一生懸命仕事に打ち込んでいます。

今でも自分の能力を過信せずに、仕事が終わったあとは振り返るようにしています。うまくいかなかったときには、「次はこうしよう」と改善点を考えています。

大澤さんにとって仕事のやりがいは何ですか。

最初は興味本位でこの世界に入りましたが、いざ仕事を始めたら、想像していた以上に楽しいと思いました。

髪質も髪の長さも、お客様で同じという方は一人もいらっしゃいません。例えば、「思い通りのカラーが出せた」とか、「カットをこうしたらうまくできた」など、奥が深くて面白いのです。だからこそ飽きずに続けられているのだと思います。

お客様とコミュニケーションを取るのも楽しみの一つ。お帰りになる際、喜んでいる姿を見ると、こちらもうれしい気持ちになります。カット中のお客様との会話では、自分の知らないことを教えてくださり、いろんな出会いや気づきがあります。お客様から旅行の話をうかがって、自分も行った気になってしまうこともありますよ。

今後の目標を教えてください。

一緒に働いているスタッフが楽しく仕事ができ

るように、環境づくりをしていきたいと思っています。

入社したばかりのころ、忘年会で、当時の社長（現会長）から「大澤さんは今後どうしたいの」と聞かれたことがありました。「楽しく仕事をしていきたいと思います」と答えると、「楽しいだけではダメだよ、楽しくなるための努力をしないとけないよ」と言われたのです。その言葉が今でも心に残っていて、いつも「楽しくなるための努力」を自分で実践しながら、後輩に伝えていきたいと思っています。

今、教育班として後輩たちに技術面を教えている中で、まったくわからなかったことが少しわかるようになり、「できるようになって良かった」と思ってくれる瞬間があります。自分が練習を見ながら指導していくことで、仕事の楽しさに繋がるいいなと思います。

仲間たちへの深く温かい気持ちを胸に、これからも走り続ける大澤さん。今後の躍進を期待せずにはられません。



▲大好物との1枚

大澤さんってこんな人!

巻頭インタビューに登場した大澤さん。いつも明るく、スタッフやお客様にも信頼の厚い方です。
大澤さんをよく知るお二人に、大澤さんのすごいところや、意外な一面が垣間見えるエピソードを伺いました!



ぎんのはさみ ラッソ
いろかわ しほ
色川 志歩さん

大澤さんへメッセージ

大澤さんの持ち前の明るさで青森をさらに盛り上げてください!

大澤さんを一言で表すと?

「仏様のような人」

温厚な性格で、人の立場になって物事を考えられる人です。大澤さんがいると空気が和みます。

大澤さんのすごいところ

突然のトラブルでも、動揺することなく対応できることです。また、言葉選びも優しいため、スタッフやお客様に信頼されています。

大澤さんとの印象的なエピソード

私が困っているときに、親身に話を聞いて私より悩んでくれました(笑) また、アシスタント時代にはいつも練習を見てくださり、色々なアドバイスをいただきました。会社の飲み会ではムードメーカーの大澤さんが場を盛り上げてくれます! いつも明るく元気な大澤さんに会うと「今日も一日頑張ろう!」と思えます。



ぎんのはさみ アルマ
しかない みずき
鹿内 瑞希さん

大澤さんへメッセージ

大澤さん! お休みの日にアニメばかり見て引きこもらず、体力をつけるために体を動かしに行きましょう! 勝負には負けません!

大澤さんを一言で表すと?

「アルマの優しいお父さん」

スタッフにもお客様にも、とにかく優しい! 私のちょっとした愚痴も「うんうん」と聞いてくれる包容力があります。後は、お客様への対応が誰よりも優しく、扱いが慣れている感じで見ているこちらも笑顔になります。

大澤さんのすごいところ

初めての方に対しても、指名で来てくれている方に対しても、いつもとても丁寧な接客で安心感があります。営業でうまくいかなかったときの反省点を素直に聞き入れられるところを、私は特に見習いたいと思います。

大澤さんとの印象的なエピソード

5~6年前に、休みが被ったスタッフ4人で初めてのカーリングに行ったことです! そのとき、大澤さんはラッソ勤務でしたが、なぜか大澤さんだけ一緒に来てくれました。最初、小鹿のように足が震えていて、「可愛いな」と感じました(笑) 最後は皆で簡単な試合ができるくらいまで上達し、楽しい思い出になりました! 今度は別の競技でも対決しましょう! 「怪我するから無理だよ〜」とおっしゃる姿が想像できますが……(笑)

わたしの
右腕

相棒との歴史!

仕事をするうえで欠かせないお役立ち道具、あなたにもありませんか?このコーナーではお二人の方に、とっておきの仕事アイテムをご紹介します!どの道具もそれぞれの愛着がたっぷり詰まった、大切な相棒となっているようです。

私の相棒

リングコーム

出会ったのは……

苦楽をともにした新人時代

美容師として、新人のときからお世話になっている道具です。使い始めたのは、最初に入社した会社でのこと。WD(ワインディング)に力を入れている会社だったため、コームについてもアドバイスをいただきました。「このコームがいいよ」と薦めてもらってからは、すっかりお気に入り。以来、今でもずっと使い続けています。実はWDが大嫌いだった私。今振り返ると、練習に次ぐ練習の日々でした。朝練や夜練、大会への準備などなど……。大変な練習を乗り越えられたのは、この子のおかげかもしれません(笑)

好きなところ

スツと手に馴染むところ。私にとっては、あまりにもフィットしすぎて他のコームが使えないくらいです。これを使うとWDもうまくできる気がします。



るぼ ゼスト店

マネージャー

こまがた ひとみ

駒形 仁美さん

思い出

過去に参加した大会では、ガイドラインをカッターで彫って使っていました。よく見ると、今もその跡が残っています。ただこの商品、きつともう販売していないはず。大事に使っていきたくと思っています。



私の相棒

ハサミと
カラフルなコームたち

出会ったのは……

長いものでは、恐らく20年ほど使っています。カットの必需品ということで、当時の先輩たちからアドバイスをもらいながら選んだ覚えがあります。ポイントは、パツと目につく鮮やかな色合い。特にコームは、自分の目印になるようにカラフルで目立つものにしました。

好きなところ

カットコームは初めからロングタイプを使っています。長所は、一度にたくさんの毛をすくえるところ。スピーディな仕事にぴったりです。セニングの方は、確か初心者でも使えると言われて使い始めたはず。今でも変えずにずっと使っています。

思い出

もう落とせない! しっかり握って大切にします

握力が弱いせいか、コームを落としてしまうことが多い私。落とすたびに消毒していると、時間がいくらあっても足りません。そこで取り替え用を揃えていくうちに、どんどんコームが増えていきました。写真ではたくさんあるように見えますが、これでもまだほんの一部です。セニングも何度か落としたことがありますが、1代目は落下の衝撃でなんと真っ二つに。修復不可能なため、同じメーカーの2代目を購入することになりました。もう廃盤になっているので、大切に扱っていくつもりです。

るぼ ゼスト店

せがわ あやこ

瀬川 文子さん



気になる

Vol. 5 銀のはさみ南類家店



銀のはさみ 南類家店

なかのわたり みきこ
中野渡 美樹子さん

あの店舗を大調査！



アーティスターグループの各店舗を紹介していくこの企画。今回は「銀のはさみ南類家店」の登場です！なんと、3年前から店長がいないまま運営している珍しい店舗です。チームワーク良くスムーズな運営を行う秘訣に迫ります！

店舗の特徴・メンバー構成

ベテランが揃う地元に愛される店舗

銀のはさみ南類家店は営業時間が18時までです。他店は19時までの営業なのですが、働くスタッフに主婦やパートが多いため、その生活に合わせた営業時間になっています。スタッフは全員女性で、スタイリスト5名、ベテランアシスタント3名の合計8名。半数が**勤続年数10年を超えるベテランスタッフ**で、アシスタント全員カットができることも特徴です。店舗は20年前から営業しており、**長く通われている常連さん**の多い地元に愛される店舗です。

店舗の雰囲気

常連さんとの会話が弾むアットホームな店舗

会話力の高いスタッフが多く、お客様との会話が常に絶えないアットホームな雰囲気です。**20年間営業しているため、親子で通っていたくなど何世代にもわたりご愛顧いただいています。**店舗入口には、季節のお花を飾っていて、常連のお客様がお花を持ってきてくださることも。そして、お客様が新しいお客様を紹介してくださることもあります。男性の方もいらっしゃるし、また幅広い年代の方もご来店くださるので、色々なお客様で賑わうお店です。



店舗ならではの強み・魅力

お客様を大切にすることが 自然と育つ店舗

ベテランスタッフが多いため、お客様との会話がスムーズなこと。髪の悩みを改善したり提案したりするのは当然で、毎回お客様との何気ない会話も大切にしています。以前お客様が話されていた内容を覚えておいて、会話を広げることも。それは、店舗の方針として共有しているわけではありませんが、**お客様を大切に思う気持ちが自然とスタッフの行動に表れている**のではないのでしょうか。

店長がいなくても スムーズな店舗運営を実現

3年前までは私が店長を務めていたのですが、体調を崩しお休みをいただいたことが、店長が

いない店舗になったきっかけです。それ以来ずっと店長のいない店舗として運営していますが、**その大変さが逆にチームワークを強めることになり、お互いに協力しながら店舗運営をしていく姿勢に繋がった**のではないのでしょうか。言われたことや指示されたことをするのではなく、自主的にみんなが考え動くようになっていて、困りごとがあればマネージャーに相談しています。店舗管理の面では、シフトはスタッフが希望を提出しマネージャーが作成しています。予約の管理は、ほとんどが指名のお客様のため、スタッフの予定を確認して受けるかどうかを決めるだけです。ベテランのスタッフが多いため、譲り合いや助け合いが自然と行われていることが、スムーズな店舗運営に繋がっています。

／ 施術スペース ／



今後の意気込み

ベテランアシスタント3名が、スタイリストになることで、売り上げアップに繋がります。そのために、**店舗全体で協力して技術力の底上げ**をしていきます！



